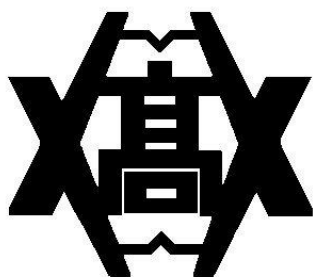


令和8年度

進路の手引



校訓 創意実践

年 組 番

氏名

北海道本別高等学校

< 目 次 >

進路実現のために	2
進路指導年間計画	4
模試計画	5

< 資料（就職・公務員） >

I 就職者の心得・履歴書	7
II 就職試験と求められている人材	13
III 就職試験の内容	13
IV 公務員試験について	16
V 内定後の心得	20
VI 卒業生就職先一覧	22
VII 卒業生受験状況	23
VIII 求人票の見方	24
IX 令和8年3月新規高等学校卒業者の就職に関する申し合わせ	28

< 資料（進学） >

I 進学に向けて	30
II 進学者の心得	32
III 大学入学共通テスト・大学別入学試験	37
IV 令和7年3月合格状況	42
V 看護師になるには	45
VI 奨学金等について	46

進路実現のために

1 進路実現は自己実現

高校時代は“将来をどのように生きるか”ということ、否応なしに問いかける時代です。この問題を解決するために、夢を見て、考えて、自分を知り、情報を手に入れ、行動していく。これらすべての取り組みのことを「進路活動」といいます。

そしてその目標に進み、生活していくことを「進路実現」といいます。高校生までとは違った新しい生活を、多くの方々の理解と支援を受けながら、自らの意志と自らの行動で実現していくのです。

この進路実現とは、現時点での自分には成しえない事柄をやり遂げ、手にするのですから、そのための取り組みである進路活動は“現時点の自分から脱皮して、より向上させ、新しい自分と生まれ変わる努力”によって成り立つべきものなのです。このような、より良く生きようとするあり方や力を身につけることを「自己実現」といいます。

つきつめて考えれば、「進路実現とは、自己実現によって得られるもの」といえます。

2 進路学習

先に述べたように、進路について学習することは「どう生きるか」という生き方の学習です。それは、“将来の生き方”でもあり、当然“現在の生き方”に通じるものです。自分はどう生きるか、どんな高校生活を送るか、そのためにどう考えるか、どう取り組むのか。進路に関する学習や活動を通じてその答えを手にしてほしいと思います。

3 進路について考えること

まず、「職業に就く」ということについて考えてください。我々はなぜ仕事をするのか。決して「皆がやるから」ではないと思います。「働く」ことに対して皆さん個人個人の理由や考えがあるはず。人生とはあらゆる意味で「働くことで新たな価値を生み出す」ことをしていくものです。それは社会にとっても、企業にとっても、家庭にとっても、個人にとっても同じです。“なぜ働くのか”“どう働くのか”ということが、進路の出発点です。そこから、目標とすべき職業と働き方を見いだしていきましょう。

次に「その職業は何か」ということ。これには二つの方法で考えます。一つは「なぜ自分はその職業に関心があるのか」という興味の理由。二つには「自分はその職業にあっていいのか」という適性の部分。これらを踏まえて目標になる職業をいくつか具体化することが大事です。

そして「その職業に就くためにはどんな方法があるのか」ということを考えてください。職業によっては実際の技術がものを言うもの、資格がないとできないものや、専門的な知識を身につけるためには高校だけでは無理なものもあります。

これらの延長として、高校卒業後の「就職希望」「進学希望」という二つのコースが生まれるのです。

4 進路実現のために

進路実現（＝目標の道に進み、生活していくこと）のためにどんなことが考えられるか、どんな事が必要か、箇条書きにしておきます。

○ 自分を知ろう

自分を知らなければどんなものに向いているのかわからない。長所や短所など周囲の人達からも意見を聞くなどして、自己理解を深めることに努めよう。

○ 日常の取り組み

- ・言葉遣い・・・自分を的確に表現できる（きちんと大人の会話ができる）こと。
- ・外見・・・初対面の相手が持つイメージは出会ったときの服装や振る舞い方です。相手が受ける印象を相手の立場になって考えられる人間になろう。（自分に甘い理屈を作らない）
- ・生活・・・社会人としてマナーを磨こう。約束（時間、期限など）は守って当たり前です。
- ・社会性・・・集団で生きることを意識しよう。一人で生きることはできません。むしろ周囲の人々と何かしらの関わりを持って生きているのです。“積極的であり、思いやりのある関わり方”を学ぼう。
- ・情報・・・世間知らずになってはいませんか？自分に必要な情報をしっかりとらえていますか？（進路資料室を利用して、資料を調べよう）
- ・資格・・・高校生の内にとれる資格はかなりある。自分を高めるチャンスの一つととらえてチャレンジしていこう。

進路指導部年間行事計画

月	進路指導部	1 学 年	2 学 年	3 学 年	
				進 学	就 職
4	進路希望調査 保護者オリエンテーション	進路希望調査① スタディーサポート①	進路希望調査① スタディーサポート①	進路希望調査 スタディーサポート① 講習ガイダンス	進路希望調査 スタディーサポート①
5	(企業訪問) 進路QUEST	進路QUEST 講習ガイダンス	進路QUEST	進路QUEST	進路QUEST
6	道進協総会		講習ガイダンス	専門学校受験指導	模擬面接
7	求人票受付開始 夏期講習 インターンシップ希望 調査	夏期講習	夏期講習	夏期講習	公務員願書受付 就職者事前指導 応募前職場見学
8	夏期講習 (企業訪問) 就職応募書類作成	進路希望調査②	進路希望調査②	夏期講習 体験入学	履歴書作成
9	道進協 就職応募受付 就職試験開始 (企業訪問) 公務員試験開始 進学推薦委員会 中間反省会議	進路保護者学習会 スタディーサポート②	進路保護者学習会 スタディーサポート②	大学入学共通テスト出願 指導	就職者事前指導
10	大学入学共通テスト 出願指導 進路相談会 進路未決定者指導 就職面接会	インターンシップ		推薦入学面接指導	内定者指導 就職面接会 公務員面接指導
11				大短看推薦入学試験開始 合格者指導	公務員面接指導
12	冬期講習 就職状況報告 進路学習の日	冬期講習 進路学習の日	冬期講習 進路学習の日		
1	冬期講習	冬期講習 進路希望調査③ 実力診断テスト	冬期講習 進路希望調査③ 実力診断テスト	大学入学共通テスト 高看入試開始 進路未決定者指導	進路未決定者指導
2	年度末反省会議	先輩講話	先輩講話	先輩講話 一般入試	先輩講話
3	進路決定状況まとめ 新年度計画策定 進路の手引き編集 関係業務の整理	春期講習	春期講習	一般入試	

令和8年度 模試計画

進路指導部

3学年

	日程		主催	名称	対象
1	4月10日	金	ベネッセ	第1回スタディサポート	全員(授業時間内実施)
2	4月18日	土	ベネッセ	総合学力記述模試・4月	大学・短大
3	7月11日	土	ベネッセ	総合学力記述模試・7月	大学・短大
4	9月12日	土日	ベネッセ・駿台	第1回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試	大学・短大
5	10月10日 (自宅受験)	土	ベネッセ・駿台	第2回ベネッセ・駿台記述模試	大学・短大
7	10月31日 (自宅受験)	土	ベネッセ・駿台	第3回ベネッセ・駿台 大学入学共通テスト模試	大学・短大

1	4月18日 (自宅受験)	土	実務教育	第1回公務員模試	公務員
2	5月2日 (自宅受験)	土	実務教育	第2回公務員模試	公務員
3	6月6日 (自宅受験)	土	実務教育	第4回公務員模試	公務員
4	6月26日	金	実務教育	第5回公務員模試	公務員
5	7月17日	金	実務教育	第6回公務員模試	公務員

1	4月17日	金	第一学習社	第1回 小論文模試	小論文試験がある生徒
2	5月上旬		第一学習社	志望理由書・自己PR文完成ノート リポート添削	全員(授業時間内実施)
3	6月6日 (自宅受験)	土	第一学習社	第2回 小論文模試	小論文試験がある生徒
4	8月29日 (自宅受験)	土	第一学習社	第3回 小論文模試	小論文試験がある生徒

令和8年度 模試計画

2学年

1	4月10日	金	ベネッセ	第1回スタディサポート	全員
2	7月11日	土	ベネッセ	総合学力テスト・7月	大学・短大
3	9月25日	金	ベネッセ	第2回スタディサポート	全員(授業時間内実施)
4	10月31日	土	ベネッセ	総合学力テスト・11月	大学・短大
5	1月23日	金	ベネッセ	実力診断テスト	総合学力テスト1月不受験者 (授業時間内実施)
6	1月22日 1月23日	金 土	ベネッセ	総合学力テスト・1月 (金曜 実力診断テストと同時実施)	大学・短大 (一部授業時間内実施)
7	2月6日 2月7日	土 日	ベネッセ	大学入学共通テスト模試	大学

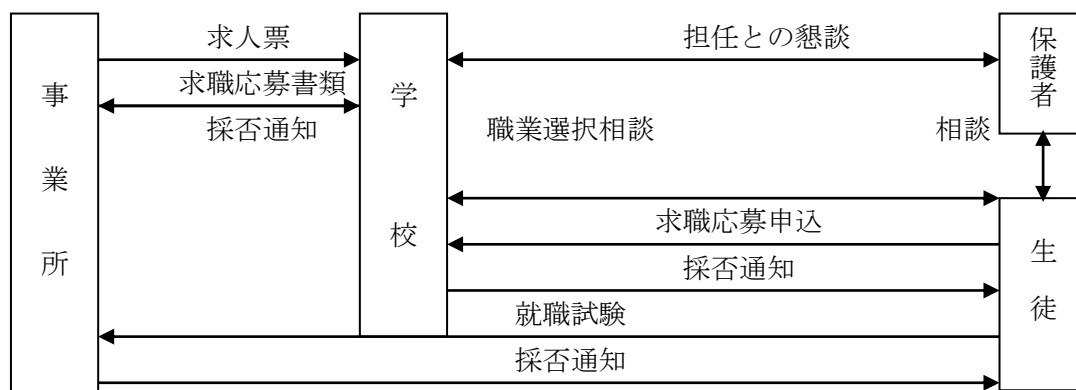
1	9月18日	金	実務教育	第1回高2公務員模試	公務員
2	11月20日	金	実務教育	第2回高2公務員模試	公務員
3	1月16日 (自宅受験)	土	実務教育	第3回高2公務員模試	公務員
4	2月6日 (自宅受験)	土	実務教育	第4回高2公務員模試	公務員

1	9月26日 (自宅受験)	土	第一学習社	小論文トレーニング	小論文試験がある生徒
2	3月7日 (自宅受験)	土	第一学習社	小論文トレーニング	小論文試験がある生徒

1学年

1	4月10日	金	ベネッセ	第1回スタディサポート	全員(授業時間内実施)
2	7月11日	土	ベネッセ	総合学力テスト・7月	大学・短大・高看
3	9月25日	金	ベネッセ	第2回スタディサポート	全員(授業時間内実施)
4	10月31日	土	ベネッセ	総合学力テスト・11月	大学・短大・高看
5	1月23日	金	ベネッセ	実力診断テスト	総合学力テスト1月不受験者
6	1月22日 1月23日	金 土	ベネッセ	総合学力テスト・1月 (金曜 実力診断テストと同時実施)	大学・短大・高看

I 就職者の心得



1 就職決定の方法

- 就職の決め方
- ・学校における職業斡旋
 - ・公共職業安定所による職業斡旋
 - ・縁故による職業斡旋

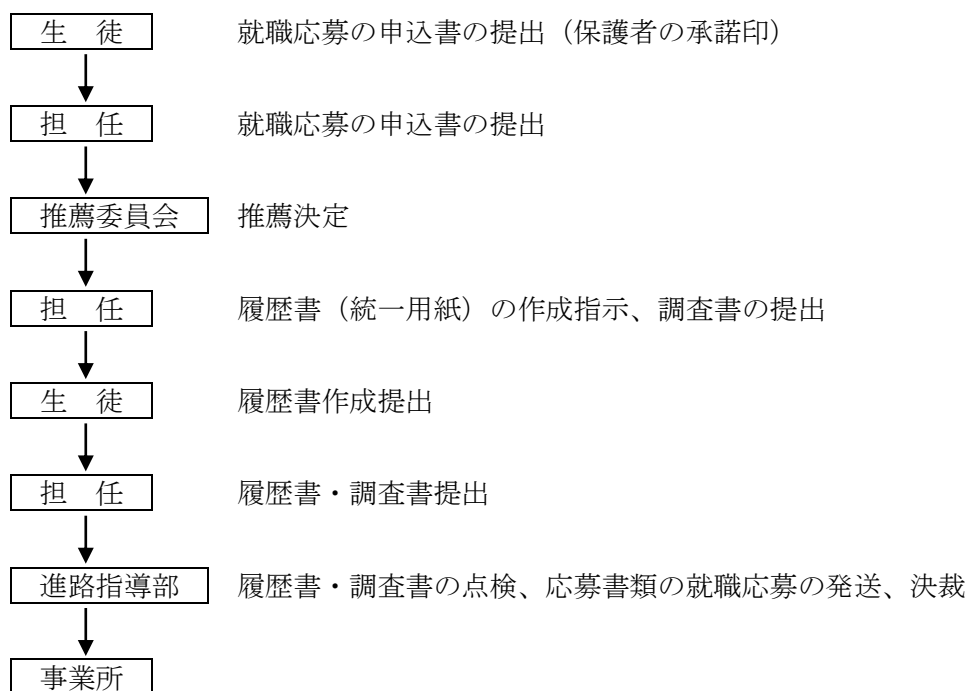
(1) 学校斡旋による就職

① 求人票の閲覧

事業所からハローワークを通じ求人の申込を受付けたあと、求人票を整理して各 HR 教室に提示している。自分が受けてみたい事業所を抽出し、両親や担任・進路指導部就職担当者と相談し応募する事業所を選ぶことになる。

従って求人票やパンフレットを読みとることに習熟しておく必要がある。給料や休日だけにとられることなく、自分の適性や関心と合っているか、選んだ会社の将来性や会社の規模など、検討するところがたくさんある。友達などとも話し合ってみることも大変有効である。

② 就職申込の手続き



注意 1 就職応募申込書の提出

この書類は自分が応募したい事業所を意思表示する大事な書類である。従って提出に当たっては両親などとよく相談し、後日就職を取りやめるなどという信用失墜につながることはないようにしなければならない。

内定したら必ず就職することを約束する書類でもあるため、保護者の認印が必要である。

注意 2 履歴書の作成

履歴書は大変重要な応募書類の一つである。書き方で人間性が判るという人もいる。自分の人生をかける履歴書であることを忘れてはならない。従って慎重に、細心の注意を払って書く必要がある。急ぐあまり学校内で書くようではいけない。自宅の自分の机で落ち着いて書かなくてはならない。特に志望の動機を書くのは難しい。事前に学習しておかなければ書けない事項である。少なくとも履歴書は10枚ほど書いて練習することである。

注意 3 応募書類の提出の厳守

提出しなければならない応募書類は早めに準備し、担任などに点検してもらい、必ず期日を守らなければならない。早めに志望の動機などを考えておくことが大事である。(期限を守らないと出願できなくなるので注意！)

注意 4 校内選考について

同一求人先に多数の申込者が重なった場合は、学年および進路指導部で協議し、推薦者を決定することがある。

推薦枠が指定され校内で選考しなければならないときには基本的に次の点を考慮して決定する。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| ① 1～3年までの学習成績 | (進路指導部活動規定 27 条) |
| ② 1～3年までの生徒会活動、HR活動、部活動、及びその他学習活動の状況 | |
| ③ 日常の生活状況 (遅刻・早退・欠席・授業態度など) | |

注意 5 一般企業同士の併願について

一般企業同士の併願については次のとおりとする。

- | |
|----------------------------------------------------------------------------|
| ① 一般企業同士の併願は認めない。(同上規定第 30 条) |
| ② 民間就職と公務員の併願は特段の事情がある場合に限り認める。
但し、両方の内定を得た場合には民間就職を優先する。(同上規定第 30 条 3) |
| ③ 公務員と進学一般受験との併願はできる。(推薦による進学は認めない。) |

※ただし 11 月 1 日以降は併願を認める求人については 2 社同時に受験が可能。

注意 6 就職活動の停止について

次にあげる事項に該当する者は原則として就職活動を行なうことができない。これらの事項がすべてクリアするまで就職活動ができないので、普段から学校生活を大切にすべきである。

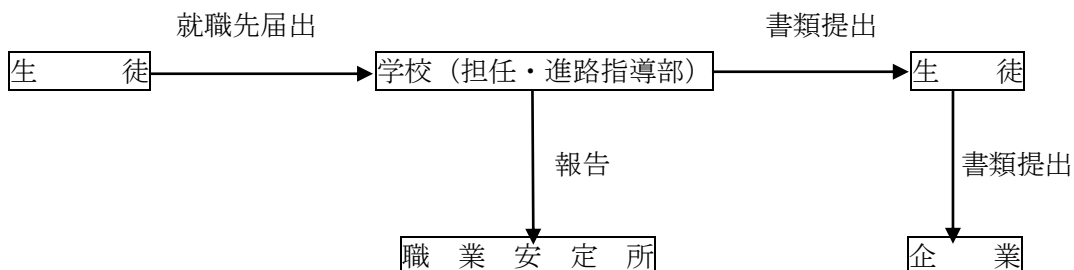
- a 謹慎・停学中にあるもの。
- b 評価・科目の評定（仮評定）に1科目でも評定1のあるもの。
- c 評定（仮評定）の段階で、欠席日数が出席すべき日数の2割を超えているもの。
ただし、病気入院等特段の事情があるものについては別途考慮する。
- d 進路活動を行うにふさわしくない態度・生活状況のもの。（同上規定第11条）

（2）公共職業安定所（ハローワーク）による就職斡旋

本校では職業安定法第25条第3項の適用を受けて安定所に代わって生徒の就職斡旋を行っている。従って原則として生徒が直接職業安定所に行って就職先を紹介してもらうことはない。ただし、卒業式後の就職斡旋は安定所の管轄になるので帯広や池田の職業安定所に行って就職を斡旋してもらうことになる。

（3）縁故による就職

縁故就職であっても高校生の就職は必ず安定所に報告しなければならない。次の図のように手続きを行うこと。

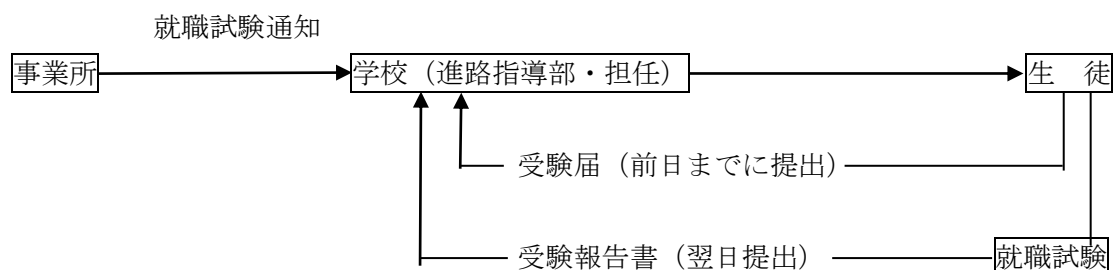


縁故就職の留意事項

- ・ 本人作成の書類は送付（提出）前に必ず担任に見てもらう。
- ・ 学校（担任）作成の書類を添えて提出する。
- ・ 受験先からの連絡は必ず担任か進路指導部に提出する。
- ・ 採用条件などについては内定先に学校から確認することがある。

2 採用試験の手続きについて

進路指導部から事業所に応募書類が渡されると数日後に就職試験の日程や場所を指定する文書が本人または学校に送られてくる。応募者は進路担当者や担任と連絡をとって就職試験の日時内容等の確認を行い、受験届や旅行届を提出し、就職試験に備えなければならない。就職試験の間際になって慌てないように心掛けることが必要である。



注意1 選考案内の通知報告

事業所から就職試験に関する案内が届いたら、必ず担任と進路指導部に受験届を記入して報告すること。

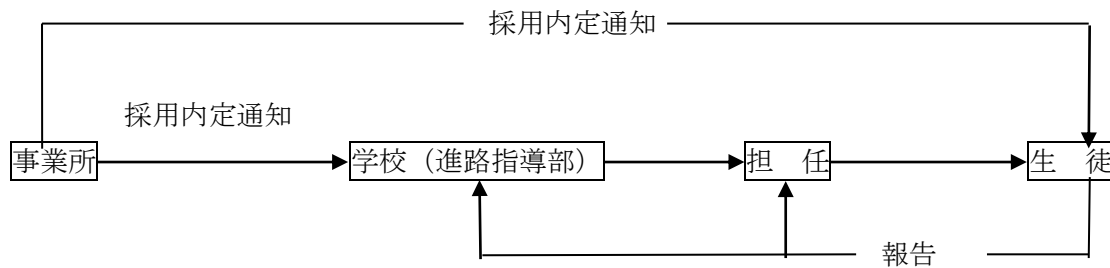
注意2 受験報告書の提出

受験報告書は次年度生徒の就職試験対策に欠かせない重要な資料となる。試験の内容をこと細かく報告しなければならない。所定の用紙にきめ細かく記入し担任経由で進路指導部に提出すること。（ここで書かれた報告書は後輩たちにとって貴重な資料となる。）

注意3 進路決定届の提出

就職試験に内定・合格したら所定の進路決定届に必要事項を記載して担任経由で進路指導部に提出すること。受験した会社に就職することを前提として就職試験を受けているのであるから、内定後に入社辞退をすることは許されない。

3 採用通知



注意1 内定の報告

採用試験に無事合格し、内定が決まったら担任・進路指導部就職担当者や部活動顧問などに報告し、お礼の挨拶を忘れないようにする。これらのことがきちんとできないということは、内定は決まっても社会で通用するところまで成長していない証拠である。社会に出て立派にやっていくためには、それに通用する社会性を身につけなければならない。

注意2 礼状の発送

採用内定をしてくれた会社に、本人から礼状を出すのが望ましい。職場に入ってから良好な人間関係を保持するためにもこのような心配りが必要となる。

注意3 入社誓約書、契約書の提出

入社誓約書、契約書は、期日に間に合うように礼状に添えて提出する。不明な点があった場合は進路指導部に相談する。

注意4 内定後の他社受験

内定後の他社への受験は認められない。

注意5 就職辞退について

採用内定前後に特別な事情で辞退しなければならないような場合は、早急に担任・進路指導部まで連絡する。このような事態は多くの人に迷惑をかけることになるので早いうちに十分相談する。

4 応募時の提出書類

- (1) 履歴書 黒インク・ペンを使って書く。修正テープ等を使わない。
- (2) 写真 ①裏面に必ず学校名・氏名を記入する。
②正装で撮る。
- (3) 応募申込書 ①担任から受けとって記入し、提出する。
②内定したら必ずその会社に就職することを約束する誓約書の役割を果たしているの、保護者の印が必要である。
- (4) 書類の提出 応募書類は、進路指導部点検・決裁後、郵送（書留）する。

5 履歴書について

履歴書(高等学校統一用紙)の書き方

(全国高等学校統一用紙)

氏名

ていねいな字で、読みやすいように大きく書きましょう。

「ふりがな」の欄にはひらがなで、「フリガナ」にはカタカナで書くのが原則です。

現住所・連絡先

省略をせずに、細かいところまできちんと書きましょう。

学歴・職歴

高等学校入学から高等学校の卒業見込みまで記入します。

職歴にはアルバイトは含めません。

趣味・特技

自分をアピールできるスペースです。自分の得意なこと、自信のある分野など、わかりやすく書きましょう。

志望の動機

企業の採用担当者が最も注目するポイントです。なぜここを志望したのか、どんな仕事をしたいのか、自分自身の言葉で、できるだけ具体的に書きましょう。

履 歴 書		写真をはる位置 (30×40mm)
氏名	平成 年 月 日現在	
ふりがな	氏名	
ふりがな	生年月日 昭和・平成 年 月 日 生(満 歳)	
ふりがな	性別	
ふりがな	現住所	
ふりがな	連絡先	

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

学 歴 ・ 職 歴	平成 年 月	高等学校入学
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	
	平成 年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

目 次	資格等の系群	
	取得年月	資格等の系群
資格等		
趣味・特技		校内外の諸活動
志望の動機		
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校校長協会の協議により平成17年度改定)

日付

あまり古い日付とならないようにしましょう。提出日を記入するのが原則です。

写 真

正面を向いた写真を用います。スナップ写真でなく、本人確認のしやすいはっきりした写真にしましょう。制服がある場合は制服を着用しましょう。

資格等

簿記、情報処理、英語など、資格や免許を持っている人は、取得した順に記入しましょう。

校内外の諸活動

部活動、生徒会での役職経験、ボランティア活動、インターンシップの経験などがある人は、そのことについて書いておくとよいでしょう。

書き終わったら、必ず読み返して、誤字・脱字などがないか確認しましょう。

Ⅱ 就職試験と求められている人材

就職試験には、

- ① 学科及び常識試験
- ② 作文
- ③ 面接試験
- ④ 適性検査
- ⑤ 身体検査

等があり、その総合的なものによって採用が決定されていくと考えても間違いがない。しかし、経済状況がめまぐるしく変化する中で、企業が業績を維持発展させていくためには、どうしても優秀な人材を必要とするので、その人材確保のため、採用ウエイトの置き方や人材発掘のイメージが企業によっては異なっている。それだけに採用の基準は、多岐多様の要素をもっているわけだがそのなかにあって各企業とも共通して重視しているのは「豊かな人間性」「人物本位」で採用していこうという姿勢である。更に具体的にいえば、①心身共に健康で、②バイタリティ（やる気）があり、③協調性、④創造力に富んでいて、⑤責任感が強いかどうかということだ。これらのことは企業が求める人間像というよりは社会人として求められる特性でもある。いずれにしても企業では入社時点での人が持っている知識よりも、その人がどのような性格で今後どのような能力を発揮するかということに重点をおいて採用試験を行うので、その目的に沿うような出題傾向が多くなってきている。

Ⅲ 就職試験の内容

1 書類の提出

就職試験に先立って、学校から企業に履歴書・調査書などの書類を提出する。

一般に学校を通じて企業に志望者が提出する書類には、次のものがある。この提出書類に基づいて、面接試験で質問されることが多い。

- ① 履歴書
- ② 調査書（学業成績、出欠状況、特技、校内活動、人物所見、などが記入されている。担任が作成。）

2 学科試験

大学などでおこなわれる入学選抜試験と違って、高校の生徒として、基礎的な学力や一般常識を備えているか、または、職務に必要な基礎的な専門知識や技術を習得しているかを判断するために実施される。したがって、学科試験の教科内容は、次のようなものから組み合わせて出題される。

- ① 一般常識（基礎教科の組み合わせや時事問題など）
- ② 国語（漢字の読み書きが多い）
- ③ 数学
- ④ 社会（時事問題を含むこともある）
- ⑤ 英語
- ⑥ その他（職業科の場合は、専門的基礎科目から出題される）

3 面接試験（合否の決め手）

面接試験は、直接、試験官が受験者を観察して、その人物の総合評価をすることができるので、採用試験の方法の中で、最も重要な要素となっている。そこで、面接試験について、次のような予備知識をしっかりと持っておくことが大切になる。

（1）試験官があなたについてもっている資料

- ① 学校から会社へ送られる調査書（学業成績、出欠状況、特技、校内活動、行動及び性格、身体記録、その他が記載されている。）
- ② 本人自筆の履歴書
- ③ 入社学科試験の採点結果
- ④ 作文試験の採点結果
- ⑤ 適性検査の結果
- ⑥ 身体検査の結果

（2）観察事項

- ① 仕事に対する適性かどうか
- ② 働く意欲はあるか
- ③ 誠実で積極的に努力するか
- ④ 協調性があるか
- ⑤ 良識をもった判断ができるか
- ⑥ 相手の質問を正しく受けとめる理解力をもっているか
- ⑦ 自分の意見を明確に、感じ良く伝える表現力をもっているか

4 作文試験

作文試験は、学科試験では判定しにくい表現力や受験者の性格・人柄などの総合的な判断を求める場合に実施されることが多い。また、どの程度の職業観や勤労意欲をもって職業生活を望んでいるかを推測するために、「志望動機」などを書かせることもある。

一般に、作文試験は、次のような特徴をもっている。

- ① 課題が決まっていること（課題に対する理解力や表現力の程度を判定するため）
- ② 時間に制限があること（一定の時間内に文章をまとめる能力を判定するため）
- ③ 字数に制限があること（一定の範囲内に文章をまとめる能力を判定するため）

5 適性検査

適性検査は、適性の有無を合理的に判断する材料として必要であり、また、入社後に職場の人間関係で不適応を起こす恐れのある者を早期に発見する必要からも実施されることが多い。

適性検査には、①知的能力検査（能力検査）、②職業適性検査、③性格検査などがあり、一般的に、矢田部ギルフォード性格検査（YG検査）、内田クレペリン精神作業検査などが多く実施されている。

6 身体検査

身体検査には、体格検査、体力検査、健康診断の三つの方法がある。体格・体力の検査は出身高校で定期的に行われているので、学校の調査書に記載されている資料によって判断されることが多い。

健康診断は、就職試験のときに直接実施する場合と、公的病院や学校医の健康診断書による場合とがある。

健康診断の項目には、一般的に、①視力 ②打聴診 ③血圧 ④血沈 ⑤胸部レントゲン ⑥尿検 ⑦既往症などがある。

IV 公務員試験について

1 公務員の試験の種類（本別高校卒業見込みで受験可能なもの）

- 地方公務員 ・都道府県職員…一般事務、学校事務、警察事務、警察官、
技術系職種など
・市町村職員…一般事務、消防士、学校事務、技術系職種など
- 国家公務員 ・一般職…事務、技術、農業、農業土木、林業
・専門職…皇宮護衛官、入国警備官、刑務官、税務職員
海上保安学校学生など
・特別職…裁判所職員一般職国立国会図書館一般職など
- 準公務員 ・特殊法人（公庫、事業団）など

2 受験の手続き

各官庁所定の願書を取り寄せ、各々の出願期間に応募する。インターネット申込の場合もある。証明写真等が必要となる。

3 試験内容

- ・第1次試験…教養、職種により適性検査、作文試験等がある。
- ・第2次試験…面接試験、身体検査等（第1次試験合格者に対して実施）

① 教養試験

一般知識の程度を見るためには、5枝択一式の問題で行われる。すべての職種で実施され、出題内容も同じような傾向。

内容は一般知識分野と一般知能分野に大きく分けられる。

【一般知識】

政治経済、社会・思想、世界史、日本史、地理、文学、芸術、国語、数学、物理、化学、生物、地学といった社会科学分野・人文科学分野・自然科学分野全般から出題されている。出題範囲が広範囲で公務員試験の高倍率により難化傾向である。

【一般知能】

公務員試験特有の分野であり、学校の教科に基づいた問題というよりも、理解力、判断力、推理力など問う知能検査的な問題である。文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈の4つに大別できる。この一般知能分野だけで、教養試験の5割程度を占める試験が多い。

- ・文章理解…現代文・古文・英文などの読解力をみる。
- ・判断推理…ある条件の下での論理的推理・判断力をみる。
- ・数的推理…方程式などを使った、論理的推理・判断力・空間の把握力などをみる。
- ・資料解釈…統計やグラフを読み取る能力をみる。

② 適性試験

主に高校卒業程度の事務系の職種で実施される。5枝択一で速さと正確さがみられ、採点の仕方、正答数－誤答数である。（例120題中 解答数100 正答95 誤答5 $95 - 5 = 90$ ）

後述の適性検査の意味で使用する場合もあるので試験内容を確認するときには注意を要する。

また、裁判所事務官Ⅲ種試験では、教養試験の一般知能分野を適性試験と称しているので注意すること。

③ 作文試験

主に、高校卒業程度の試験で実施され、日常的なことから課題が出されることが多い。60分で800字の課題が多く、少なくとも600字以上が必要。誤字・脱字・悪筆に注意すること。

④ 適性検査

性格検査と呼ばれるもので、次の2つが一般的である。

【内田クレペリン精神検査】

数字の加算作業により、個人の性格（精密さ・粘り強さ等）、適応能力などを判定する。

【Y-G性格検査】

120項目の質問に対して「はい」と「いいえ」「わかりません」のいずれかで答える検査で、大まかな性格の分類ができる。

⑤ 人物試験（面接試験）

1次試験合格者に対して、2次試験として行われるのが一般的であるが、近年は人物重視の傾向が強くなり、1次試験より実施しているところもある。受験者と直接面談して協調性・積極性など公務員としての適性をみる。

最近は、倫理観を問われるようなことも多く、重要視されている。

また、個別面接と集団面接があり、集団面接では討論を行うところもある。

⑥ 身体検査

試験の種類によっては日程に入っていない場合もあるが、採用までには実施される。胸部疾患についての医学的検査や仕事内容により、色覚検査が行われる。身体に障害がある場合でも、その仕事に支障がなければ採用される。

身体基準（身長・体重・胸囲など）が定められている試験では、身体測定が行われる。また、警察官、消防官など職務上、身体の敏しょう性、持久力、柔軟性などが必要とされる場合には、体力測定も行われる。

4 合格発表

合格発表については、1次が9～10月、2次が11月下旬から12月というところが多く、民間企業に比べて結果が出てくるのが遅いため、公務員の結果次第で民間就職への変更というのは非常に難しい。

5 合格から採用へ

合格とは、「採用候補者名簿」（有効期間1年）に登録されることを意味し、この名簿から成績・職種の条件に応じ、面接なども行った上で採用を決定する。したがって職種によっては合格しても採用が4月以降になることや、採用されずに終わることもあるので、ただ合格するだけでなく、できるだけ上位での合格を目指す必要がある。

<第1次試験>

<第2次試験>

教養試験

(適性検査) → 1次合格 → 面接試験 → 2次合格 → 各官庁呼出面接 → 最終合格
(作文試験) (採用候補者名簿記載)

6 1次試験合格の決め手

① 各試験に足切り点を設置

教養・適性試験の各々について、これ以上の得点が必要というボーダーラインが引かれている。各試験ともこの基準点を越えなければ、その時点で不合格となり、ボーダーラインは40%くらいといわれている。たとえどちらかの試験が満点であっても、一方が基準点以下の場合には合格できなくなるので、バランスのとれた力が必要となる。

② 総合標準点で成績を決める

各試験とも得点分布に応じて標準点を出す。その上位から採用予定人数に合わせた人数だけが合格者として採用候補者名簿に記載される。受験者の平均点近くに集中しており、分散していない場合が多いため、1点、2点が合否の分かれ目となる。少しでも上位になるよう、しっかりとした取り組みをしよう。

7 合格のポイント

① 教養試験（45題 100分）

教養試験は、前述のように一般知識分野と一般知能分野の2種類に分類できる。一般知識分野は、高校の学習の全範囲からまんべんなく出題され、5枝択一問題である。

対策としては、過去の問題をできるだけたくさん解き出題傾向をつかんでおくことと、模擬試験を受けた後、解説をしっかりと読み、一度間違った問題は二度と間違わ

ないようにすることが大切である。

一般知識分野は、毎日の授業を大切にし、いろいろなことに興味・関心を持つことが最も良い勉強方法である。また、一般知識分野では、政治経済、日本史、世界史などの社会の出題が多い。特に政治経済は、出題数も多いので普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりして身近なことから知識を増やしておくことが大切である。

一般知能分野については、一般知識分野と違って、学校の授業で学習することのない知能検査的な問題が多いので、できるだけ多くの問題に触れてパターンを覚えることが必要である。また、一般知能分野の文章理解については、要旨把握能力をみられるものが中心となるが文章の並び替え、適語を入れるなどのパターンもあるので、英語、国語の授業を特に大切にすることがある。国家Ⅲ種については、多いときは45題中9問の文章理解問題が出題される。

教養試験については、1冊問題集を購入し、何度も同じ問題集を繰り返し解くことが最も有効な勉強方法である。また、45題100分ということは、1題2分で見直しに10分という程度の時間配分になるので、短時間で問題を解く練習が必要である。

② 適性試験（120題 15分）

適性試験における対応策は何といっても「慣れ」である。全く見たことのない人と、毎日繰り返し練習している人とは、大きな差ができるのは当たり前のことである。特に公務員試験の適性検査は、採点の方法が正答数－誤答数ということで、速さと正確さが求められている。

教養試験でいくら得点しても、適性試験の練習が全くできておらず基準点に達することができない場合には、不合格となってしまう。また、適性検査は、どんどん新しいパターンになってきており難易度も上がってきているので、模試をしっかりと受けて、新しいパターンになれていくことも必要である。目標としては、どんな問題であっても75%以上の点数が取れるようになって欲しい。また、適性試験は、練習によって確実に得点が上がる試験である。

適性試験は、3つのパターンが10題ずつ繰り返される形式になっており、苦手なパターンを飛ばすと誤答とみなされる。苦手なパターンを特に繰り返して練習するのが、得点アップの秘訣である。

③ 早めに取り組みを始めよう

試験の直前になって取り組んでも、広い教養試験の範囲と積み重ねが必要な適性試験には対応できない。遅くとも、2年生の見学旅行明けからは、公務員試験に向けての勉強を1日1時間半は始める必要がある。また、同じ問題集を少なくとも3回は終わらせるようにしよう。

④ 最後の決め手は！

いくら教養試験と適性検査で高得点を上げて1次試験に合格しても、面接で何も応えられなければそこまでだ。特に公務員試験の面接は重視されており、1次試験合格者の半数近くが2次試験で不合格になるような試験もある。自分の考えをしっかりと持つこと、正しい言葉遣いができること、自分に自信をもてるような高校生活を過ごす

すことなどが大切だ。そのためには、毎日の授業・生活・部活動などに精一杯取り組むことが大切である。そして直接受ける職種について十分な下調べをして、自分のやる気をアピールすることも重要である。

V 内定後の心得

1 内定通知を受け取ってから行うこと（必ず実行しよう）

- (1) 担任、進路指導部の先生に報告し、部活動の先生等や受験でお世話になった人、家族にもお礼を述べる。（感謝の気持ちを持つことが社会人の第一歩です）
- (2) 内定後、早めに内定に対する礼状を発送すること。
- (3) 内定後、健康診断がある場合、規則正しい生活を送り、その日に備える。
- (4) 内定先から提出するように送付してきた入社承諾書などの書類については、記載事項を担任や進路指導部の先生と相談し、できるだけ早めに提出すること。（1週間以内を送ること）

2 就職内定から卒業までの心構え

学校生活ではいくらかのわがままや甘えが許されたかもしれませんが、社会に出たら一人の社会人として、すべて自分自身の判断と責任において生きて行かなければならない。

就職が内定してから、4月の入社までは、一人前の社会人として巣立つための貴重な準備期間として、有意義に過ごしてほしい。

- (1) 内定後、油断して学習・生活面で気が緩むものもいるが、内定は決定ではないので、欠席・遅刻・早退はせず、学習態度を一層引き締めて、残りの高校生活を充実させるように努力すること。
企業によっては、作文の提出を要求されたり、学校生活について、事細かに注意される場合もある。
- (2) 企業によっては4月1日以前に入社する所や、研修期間が設けられている所もあるので、内定先からの連絡に注意し、担任・進路指導部の先生に必ず報告すること。
- (3) 社会人としてのスタートをすばらしいものにするためにも、明るく、好感の持てる動作や態度、礼儀正しい言葉使いや気持ちの良い返事、そしてきちんとした身だしなみなど、普段から社会人としての準備を心掛けておくこと。（内定後は、高校生であると同時に会社の一員なのです）

[礼状の例]

拝啓

新緑の候、貴社ますますのご清栄のことと、お慶び申し上げます。
このたびは採用内定をいただきありがとうございます。両親もとても喜んでおり、本当に嬉しく思います。
今後は、残り少ない高校生活を充実したものにし、入社に備えて資格・検定の取得にも力を入れたいと思います。
入社後は一日も早く仕事を覚え、周りの方々に信頼される立派な社会人になりたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

敬具

令和〇年〇月〇日

北海道本別高等学校 本別 太郎

〇〇〇〇株式会社
社長名(個人名)様 (会社・部・課は「御中」)

[封筒]

The diagram shows a vertical envelope with a triangular flap at the top. On the left side, there are two rectangular boxes for return information: the top one is labeled '役職名' (Job Title) and the bottom one is labeled '宛名' (Recipient Name). At the top left, there are two sets of four small squares representing postal codes, separated by a dot. On the right side, there are three vertical rectangular boxes for the recipient's address: the top one is labeled '住所' (Address), the middle one is labeled '会社名' (Company Name), and the bottom one is labeled '自宅住所' (Home Address). At the bottom left, there is a box labeled '自分の氏名' (Sender's Name). At the bottom right, there are two sets of four small squares representing postal codes, separated by a dot.

VI 卒業生就職先一覧 (過去5年分)

(本別・足寄・浦幌)

就職先	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中前建設株式会社			1						1	
日本郵便株式会社									1	
介護老人保健施設 アメリテイ本別			1							

(道外)

就職先	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
株式会社 Honeycombstructure			1							
株式会社 ダンクムラセ									1	
マイクロータルサポート 株式会社						1				

(公務員)

本別町役場									1	
浦幌町役場		1								
陸別町役場					1					
札幌市							1			

(管内)

就職先	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
十勝いけだミート パッカー株式会社				1						
株式会社 柳月							1			
東北北海道日野 自動車株式会社	1									
十勝川温泉第一ホテル		1								
パナソニックスイッチング テクノロジーズ株式会社							1			
レストラン URATIE										1
株式会社 十勝大福										2
株式会社 六花亭	1						1			3

(管外)

就職先	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
株式会社 はなまる									1	
北見赤十字病院	1									
社会保険労務士法人 ホームラン										1
株式会社 ONENET										1
北海道旅客鉄道株式会社								1		
株式会社リッジワークス							1			
株式会社 新星苑 札幌ビール園						1				
野口観光ホテル プロフェッショナル学院					1					

VII 令和7年度卒業生受験状況

	企業名	職種	受験者		合格者		選考方法
			男	女	男	女	
1	株式会社 六花亭	製 造	1		1		面接・適性検査(クレペリン)
2	東北海道日野自動車株式会社	整備メカニック	1		1		一般常識・作文・面接
3	株式会社 第一ホテル	接客サービス職		1		1	面接・作文・適性検査
4	コマツレンタル道東株式会社	サービス技術員	1		1		面接・一般常識・国語・数学 適正検査
5	北見赤十字病院	看護助手	1		1		面接・作文
6	北の食品株式会社	菓子製造職		1		0	面接・一般常識・国語・数学 適正検査
7	浦 幌 町	公務員		1		1	面接・一般常識・教養
8	帯 広 市	公務員		2		0	面接・一般常識・教養
9	幕 別 町	公務員		1		0	面接・一般常識・教養

①「雇用形態」
この欄の表示には以下の種類があります。

①「正社員」
直接雇用で、雇用期間の定めがなく、フルタイムのもの。

②「正社員以外」
臨時社員、契約社員、嘱託社員など、正社員以外のもの。

③「有期雇用派遣」

④「無期雇用派遣」

また、正社員採用されるために資格取得などの条件がある場合があります。
「補足事項や求人条件に係る特記事項」欄なども確認してください。

①「就業形態」
この欄には以下のいずれかが表示されます。

- ・派遣・請負ではない
- ・派遣
- ・紹介予定派遣
- ・請負

②「職種」「仕事の内容」
採用後初めて従事する仕事の内容、また将来見込まれる仕事の内容が記載されています。なお、入社後に職種間の異動がある場合があります。

③「試用期間」
試用期間がある場合、その期間について、補足事項欄に記載があります。また、期間中の労働条件が異なる場合も「補足事項」欄に記載されています。

④「就業場所・マイカー通勤・転勤の可能性」
採用された場合に実際に働く場所が記載されています。事業所所在地と就業場所が異なる場合があるのでよく確認しましょう。就業場所が特定できない場合などは、「補足事項」欄に記載されています。

「転勤の可能性なし」となっている場合、研修を遠方で実施する場合や、事業拡大などで将来転勤を打診される場合もあります。転勤できない場合は、面接などでそのことを伝えておくのがよいでしょう。

なお、マイカー通勤の場合、駐車場が有料の場合もあるため、「求人条件にかかる特記事項」をよく確認してください。

⑤「屋内の受動喫煙対策」
就業場所における受動喫煙の防止に向けた取組の内容について記載があります。

⑥「加入保険等」
各種保険制度の加入状況が記載されています。

- ・雇用…雇用保険。失業した場合などに支給されます。
- ・労災…労災保険。業務上の病気・ケガなどの場合に支給されます。
- ・健康…健康保険。業務外の病気・ケガなどの場合に支給されます。
- ・厚生…厚生年金保険。高齢になった場合、障害が残った状態となった場合、死亡した場合などに支給されます。
- ・財形…勤労者財産形成促進制度。働く人の財産形成促進のための貯蓄制度です。
- ・退職金共済…退職金を確実に支払うために企業が預金を社外に積み立てる制度です。

⑦「入居可能住宅」
会社が従業員のために用意している単身用・世帯用それぞれの住宅があり、入居可能な場合に、「単身用あり」又「世帯用あり」が、入居可能な住宅がない場合は「なし」が記載されています。なお、利用条件や宿舍費用などがある場合は、「求人条件にかかる特記事項」に記載されています。

⑧「通学」
会社が資格取得などのための通学制度を認めているか否かについて記載されています。なお、何らかの配慮がある場合は青少年雇用情報の「2(2)自己啓発支援の有無及びその内容」に記載されています。

⑨「賃金形態等」
さまざまな賃金形態があります。

①月給…月単位で算定される賃金
②日給…日単位で算定される賃金（日払支給とは限りません。月払、週払、日払などがあります）
③時給…時間単位で算定される賃金（月払、週払、日払などがあります）
④年俸…年額が決められ、各月に分けて支給されます。支払い方法は会社ごとの規程を必ず確認してください。

⑩「賃金等（現行・確定）、月額」
「現行」の場合は、採用予定者の賃金がまだ決定していないため、当該年の新規高等学校卒業業者採用者の賃金が参考として記載されます。また、「確定」の場合は、採用予定者の賃金が既に決まっています。※月額については、表示されている額から所得税・社会保険料などが控除されますので、注意してください。

→例えば、記載額の218,000円の場合、所得税・社会保険料など、控除後の額は約180,000円前後となります。（平成31年4月1日時点）

※一定時間分の時間外労働に対する割り増し賃金を定額で支払うこととしている場合は、「固定残業代」ありとなっており、詳細は「固定残業代に関する特記事項欄」に記載がありますので、確認してください。

日給、時間給の場合は月額の概算が記載されています。

⑪「手当」
手当には、営業手当、職務手当などさまざまな種類があります。記載されている手当の支給条件などを学校の進路指導担当の先生又はハローワークに確認しましょう。

⑫「通勤手当」
通勤手当が実費ではなく、会社規定の計算方法により支給される場合があります。

⑬「賞与」「昇給」
「賞与」は制度の有無、及び前年度実績が記載されています。「昇給」は制度及び前年度1年間の実績又は割合が記載されています。会社・個人の業績により変動することがあります。※前年の新規高卒者の採用実績がない場合、「前年度実績」欄が表示されません。

⑭「就業時間」
一定期間の労働時間が変則的な「変形」や、「交替制」の場合など、どのような働き方なのか分からない場合は、学校の進路指導担当の先生又はハローワークに聞いてみましょう。また、複数の時間帯が記載されているときは、どの時間の勤務もあり得る場合や、その時間の中から選択して勤務する場合などがあるので、面接などで確認するといいでしょう。

⑮「時間外」
早出出勤や残業のことです。時期により残業時間に差がある場合があります。気になるときは面接などで確認してください。なお、36協定における特別条項（時間外・休日労働に関する協定）がある場合は「あり」となっています。

⑯「休日等」
記載されている休日の制度に不明点がある場合は、学校の進路指導担当の先生又はハローワークに聞いてみましょう。また、休日出勤が必要な場合もあることに注意してください。

「有給休暇」
入社時の有給休暇日数や6ヶ月経過後の有給休暇日数欄には取得可能日数が記載してあります。また、取得実績ではないので注意してください。

⑰「週休二日制」
「週休二日制」欄には、完全週休二日制を実施している場合は「毎週」、前記以外の形態で週休二日制を実施している場合は「その他」、週休二日制ではない場合「なし」と記載されています。

(2/2)

求人番号



36010-11499

受付年月日 令和〇年〇月〇日
受付安定所 〇〇公共職業安定所

求人票 (高卒)

募集所番号



3601-919937-2

募集先 株式会社 株式会社 株式会社

4 選考

受付期間	3月5日 ~ 3月11日	選考方法	⑮	3月16日以降随時	選考結果	否 (告知開始10日以内)	選考結果	面接選考結果通知 面接後10日以内
応募の応募	限外応募 可 (応募資格は3年以内)	入社日	(限外応募の入社日) 随時	(給付休職)	あり	応募の職種	可	両立準備期間
選考場所	〒170-8013 東京都豊島区東池袋1丁目 町田駅 から 徒歩10分	選考方法	⑰	筆記試験	あり	筆記試験	言語 論理 常識 数学 英語	面接試験
担当者	人事部 人事部 リーダー	氏名	募集 佐子	FAX		面接試験	一般常識 論理 数学 英語	筆記試験
電話番号	03-3559-3000					筆記試験	言語 論理 常識 数学 英語	面接試験
Eメール						筆記試験	言語 論理 常識 数学 英語	面接試験

5 補足事項・特記事項

⑱	<ul style="list-style-type: none"> 試用期間3ヶ月 応募資格は応募要項の記載の年齢によって異なるものではありませんが、応募資格は応募要項に記載のとおりです。 応募資格は応募要項に記載のとおりです。 	<ul style="list-style-type: none"> 給与体系：(月給) 月給3万円 賞与制度：上乗額5万円まで 年別は他社以下のものであります 賞与手当：会社の定める賞与の規程に準じ、1万円未満
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

青少年雇用情報

1 募集・採用に関する情報	企業全体の情報				高卒の情報			
	総応募者数	{うち男性}	{うち女性}	総応募者数	総応募者数	{うち男性}	{うち女性}	総応募者数
⑲ 平成30年度	10人	6人	4人	1人	4人	2人	2人	8人
(1) 平成29年度	11人	7人	4人	2人	3人	1人	2人	1人
平成28年度	9人	4人	5人	1人	3人	2人	1人	1人
(2) 平均年齢	従業員平均年齢【参考値】 26.5年			41.7歳	28.7年			42.2歳

2 職業能力の開発及び向上に関する取組の実施状況

⑳	研修の名称及びその内容	あり 新入社員研修、英語研修(通訳制)、育児休暇取得研修(社内研修)
(1)	自己啓発支援の名称及びその内容	あり 研修に資するとして会社が認めた資格について取得費の全額補償
(2)	メンター制度の有無	あり
(3)	キャリアコンサルティング制度の有無及びその内容	あり 入社後、入社3年目等の節目に人事担当によるキャリア面談を実施
(4)	社内研修制度の有無及びその内容	あり 株式会社電子工業社内特定

3 職場への定着の促進に関する取組の実施状況

⑳	企業全体の情報	高卒の情報	
		15.5 時間	16.7 日
(1)	前年度末の雇用率(前年度末時点)	9.8 時間	12.8 日
(2)	前年度末の雇用率(前年度末時点)	女性 8人	男性 2人
	前年度末の雇用率(前年度末時点)	女性 12人	男性 10人
(3)	役員及び管理職の地位にある者に占める女性の割合 ※1	役員 22.1%	管理職 38.5%
	役員及び管理職の地位にある者に占める女性の割合 ※2		

※1 については、男性は配偶者の出産者数を示しています。 ※2 については、雇用形態に関わらず企業全体における割合を示しています。

産業分類 ⑳ 製造業、機械の製造業を営む 業種分類 ㉑ 製造業 就業場所 ㉒ 製造業

雇用保険適用事業所番号 〇〇〇〇〇〇〇〇 業種別番号 〇〇〇〇〇〇

求人票に関する注意事項 ハローワークより、本人等に届く契約書ではありません。採用時に必ず、募集により労働条件の明示を受けてください。

⑧「選考日」「複数応募」

複数応募が「可」の場合、記載の期日以降は他の求人との併願が可能となります。

※この記載例の場合、複数応募は10月1日以降に「可」となりますので、9月末までは他の求人と重複して応募はできません。

⑨「選考方法」

適性検査の具体的な検査名やその他が該当する場合は、その他（ ）欄に詳細な記載があります。

⑩「補足事項」「求人条件に係る特記事項」

求人条件に関する特記事項、企業の特長や労働条件、福利厚生、試用期間の詳細に関する補足説明が記載されている場合があるので、必ず確認しましょう。

なお、記載例にあるとおり、応募前職場見学については、参加の有無によって採否が決定されるものではありません。

⑪「募集・採用に関する情報」

過去3年間の新卒採用者数・離職者数、過去3年間の新卒採用者数の男女別人数、平均勤続年数を確認することができます。

法令で定める情報提供項目ではありませんが、参考値として、可能であれば平均年齢についても情報提供するよう、企業に推奨しています。

⑫「職業能力の開発及び向上に関する取組の実施状況」組の有無や具体的内容を確認することができます。

制度として就業規則などに規定されているものでなくても、継続的に実施していて、そのことが従業員に周知されていれば、「有」として情報提供されます。

⑬「職場への定着の促進に関する取組の実施状況」

前事業年度の月平均所定外労働時間の実績、有給休暇の平均取得日数、育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）、また、役員に占める女性の割合及び管理的地位（※）にある者に占める女性の割合を確認することができます。

※「管理的地位にある者」とは、原則としていわゆる課長級以上のことを指しています。

IX 令和 8 年 3 月新規高等学校卒業者の就職に関する申し合わせ

北海道高等学校就職問題検討会議において協議した結果、生徒の企業への応募機会を拡大するとともに、企業のより良い人材確保に資するため、2025年4月新規卒業者に係る就職（生徒の応募・推薦方法）について、次の事項を遵守するとともに、関係者への周知徹底を図ることを申し合わせる。

1 応募・推薦について

- (1) 生徒の企業への応募・推薦は、推薦開始日から10月31日までは1人1社とするが、11月1日以降は、1人2社まで応募・推薦ができる。
- (2) 複数応募・推薦に伴う取扱いについては、次のとおりとする。

ア 求人票への明記について

企業は、内定辞退により円滑な採用活動に支障が生じる等特別の事情があるため、11月1日以降も単願者のみの応募を希望する場合は、公共職業安定所に求人票を提出する際、求人票の「複数応募」欄に「不可」と明記する。

イ 選考結果前の応募・推薦について

選考試験を受け、10月31日までに採用内定通知がない場合は、原則として11月1日以降、1の(1)の範囲内で生徒の応募・推薦ができる。

ウ 応募社数の取り扱いについて

11月1日以降は、1の(1)の範囲内で、随時、複数応募・推薦ができる。

エ 指定校求人との併用について

11月1日以降は、1の(1)の範囲内で、指定校求人と公開求人を併用した複数応募・推薦ができる。

オ 公務員試験との併願について

公務員試験を受験し、10月31日までに最終的な試験結果が出ていない場合、11月1日以降、企業への応募・推薦については、1人1社の応募・推薦ができる。

2 指定校制について

企業は、公共職業安定所に求人票を提出する際に、職種や仕事内容から学校・学科の指定等を行う場合は、次の事項に配慮する。

- (1) できる限り求人の共有化を進めることにより生徒の応募機会の均等を図る。
- (2) 指定を受けない学校において応募希望の生徒がいる場合は、生徒の受験機会の確保に努める。

3 校内選考について

高等学校は、生徒の進路選択能力や職業観・勤労観を最大限尊重するため、校内選考において、次の事項に配慮する。

- (1) 生徒の進路希望を尊重して応募先を決定することを基本とする。
- (2) 企業の応募条件を確認の上、単に学習成績や出欠状況のみの判断だけではなく、生徒の意欲・適性・能力等を考慮し、総合的に判断する。

4 選考日及び選考結果の通知について

- (1) 応募書類を受理した企業は、選考日を速やか、かつ確実に高等学校を經由し、生徒に通知する。
- (2) 企業は、選考結果を1週間以内を目途に書面により、高等学校を經由し、生徒に通知するものとし、応募者が多数である等やむを得ない場合であっても10日以内に通知する。

5 採用内定に対する意思表示の通知等について

生徒は、採用内定通知を受けた日から2週間以内に、高等学校を經由し、企業に対して承諾書または辞退書により意思表示を通知するほか、採用内定に関しては、次のとおりとする。

- (1) 承諾書を提出した場合は、特別の事情等がない限り、内定は辞退しない。
- (2) 求人票の「複数応募」欄に「不可」と記載した求人企業に応募・推薦し内定を受けた場合は、特別の事情等がない限り、承諾する。
- (3) 公務員試験との併願の場合、12月末日までに公務員試験の最終的な試験結果が出るものについては、その結果発表後に意思表示の通知ができる。

6 公正な採用選考について

企業は、生徒の職業選択及び均等な応募・選考機会の確保のため、次の事項に留意する。

- (1) 応募者の適性・能力を基準とした公正な採用選考に努める。
- (2) 採用選考に当たり、本人の責任のない事項、本来自由であるべき事項等で就職差別につながるおそれのある事項に留意する。

(北海道高等学校就職問題検討会議)

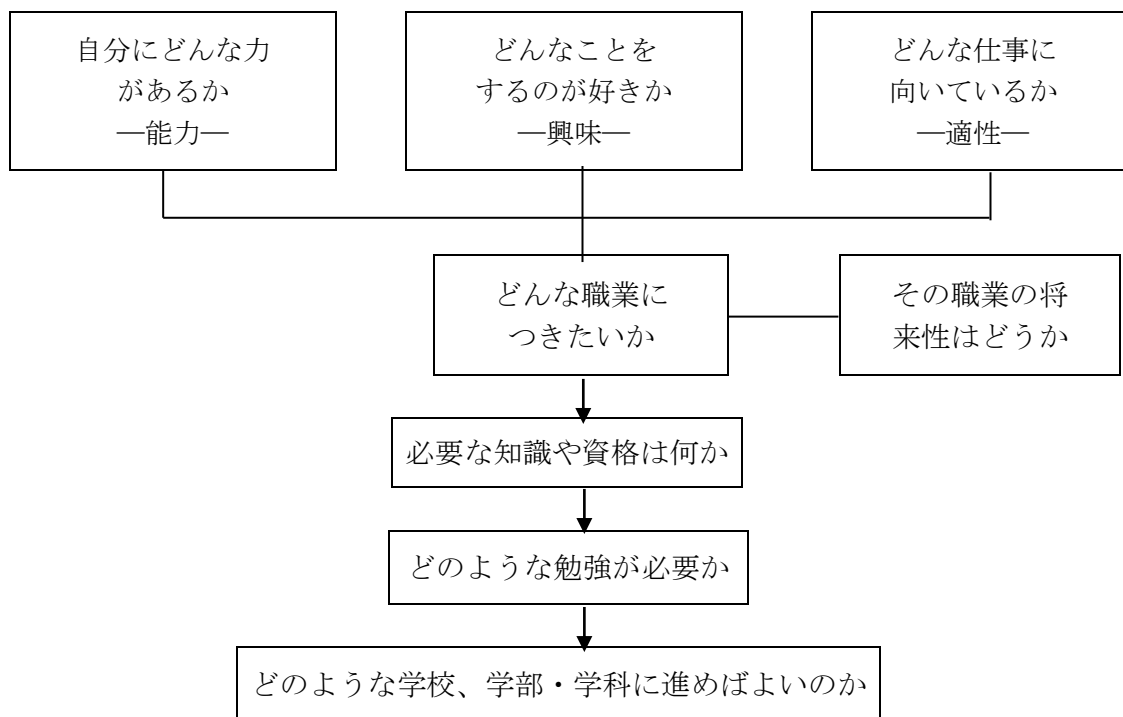
I 進学に向けて

1 進学する意味

みなさんはなぜ「進学」するのでしょうか。自分の進路を決断する際に、今一度考えてみる必要があるでしょう。なぜならば、高校からさらに上級学校に進学することは経済的負担が大きいからです。私立の4年制大学に自宅外から通学した場合、卒業するまでに最低でも約1,000万円の費用（授業料や生活費、その他諸々）がかかると言われています。それだけのお金をかけて進学をするには明確な将来設計がなくては保護者の方は納得してくれないと思います。数十年前に多かった「就職したくないから進学する」「やりたいこともわからないのでとりあえず進学する」というような高校生は、現在は減少しつつあります。もちろん、みなさんがそのような軽薄な気持ちで進学するとは考えにくいことですが・・・。

自分が将来どのような分野で活躍したいのか、その目標を実現するためにはどのような学校に進学するのが最も良いのかをじっくり考えた上で、多くの方々のアドバイスを参考に進学先を決定してもらいたいと思います。

* 進学先を選ぶおおまかな流れ



2 進路実現に向けての学習上の課題

(1) 学習計画の作成

- ① 計画的に学習を進められているか。
- ② 高校3年間の長期的な展望のもとに計画が作成されているか。
- ③ 自己の実力に合った学習計画になっているか。

(2) 学習習慣の確立

- ① 部活動や生徒会活動と学習の両立ができているか。
- ② 少ない時間も大切に使えているか。
- ③ 1日の生活リズムに学習が組み込まれているか。
- ④ クラスが学習するにふさわしい場になっているか。

3 上級学校、学部、学校選択の目安

(1) 学力を知る

- ① 定期考査→学校内で行われる定期考査の取り組みは、進学だけでなく進路決定の大きな要素になります。とりわけ推薦制度を利用する場合、定期考査の成績は極めて重要です。
- ② 模擬試験→自分の進学先の難易度を知ることができ、努力目標の設定や最終的には進学先の決定資料となります。

(2) 国公立型か私立型か、文系か理系かを知る

自分の興味関心や得手不得手を把握し、文系か理系かを判断しましょう。また教科(科目)ごとの成績状況から国公立向きか私立向きかを判断できます。

(3) 家庭の経済状況を知る

進学後の生活を支える経済力がなければならぬので、保護者との現実的な相談が必要です。自分の家庭の経済状態を考え、進学先を決めることが大切です。

(4) 資格・免許の取得

自分が入学した上級学校で取得できる資格や免許について十分に研究し、入学後にどんな勉強をするかをあらかじめ理解しておく必要があります。それは同時に上級学校卒業後にどのような職業に就きたいのか(就けるのか)を研究することでもあります。進学目的をしっかりと持つことが後悔しない進学の必要条件だと言えるでしょう。

II 進学者の心得

1 進学するにはどのような方法があるか

一般入学試験 これは一般入試を（いわゆる推薦を受けずに）受験する方法です。概ね、専門学校・看護学校は10月以降、大学・短大・高等看護学校は1月以降に実施されます。

- 〈特徴〉
- ① 自分の志望する学校を（試験日程が重ならない範囲で）何校でも受験することができ、選択の幅が大きい。
 - ② 学科試験に合格できる学力が必要。
 - ③ 合格決定の時期が推薦入学よりも遅い。

推薦入学試験 これは誰かの推薦を受けて、受験する方法です。推薦者は多くの場合学校長ですが、自ら推薦する場合や、居住地域の医師会長という例もあります。概ね、専門学校・看護学校は10月以降、大学・短大・高等看護学校は11月下旬以降に実施されます。

- 〈特徴〉
- ① 原則として1校しか受験できない。
 - ② 合格した場合、必ず入学しなければならない。（原則、辞退できない。）
 - ③ 学力だけでなく、学校生活での活動実績（部活動や生徒会、資格取得など）が重視される。
 - ④ 推薦に当たっては別記（5の（2））の推薦基準を満たしていることが必要であり、推薦委員会の協議を経て学校長が決裁する。
 - ⑤ 合格の決定の時期が一般入学よりも早く、不合格の場合でも一般受験できる。

就職進学 これは就職することを前提とし、その就職先から進学する方法です。准看護学校が代表的なものです。それ以外にもあるので進路担当の先生に聞いてください。

- 〈特徴〉
- ① 働きながら学ぶことが原則であり、就職先の同意が必要。
 - ② 一定の収入があるので保護者の負担が少なくて済む。
 - ③ 就職と進学を同時にしなければならないので、強い意志が必要。

2 進学に当たっての基本原則（本校規定より）

【進学に関する自己責任原則】

第16条 志望校の決定から受験に至るまでの最終決定は本人の責任において行い、受験から入学に至るまで結果責任は本人が負う。

【進学に関する校則の遵守】

第17条 進学に当たっては校則を遵守し、保護者及び担任との相互の合意のもとに行う。

3 確認事項

- ① 推薦入学試験は原則として1校のみとし、その合否の結果が出るまでは他の推薦を受けることができません。（同一時期に2校以上の推薦は行いません。）
- ② 推薦入学試験に合格した場合、その学校に入学しなければなりません。また、就職と推薦入学の併願は認められません。
- ③ 一般受験と就職試験の併願は認めますが、就職試験に合格した場合は就職を優先しなければなりません。（公務員については担任の先生とよく相談すること。）
- ④ 就職進学については様々なケースがあるので、担任および進路指導部の先生とよく相談してください。

4 注意事項

- ① 「入学願書」「募集要項」等は原則として自分自身で入手することになります。説明会などに行けば無料で提供される場合があるので、積極的にそのような機会を利用してください。
- ② 受験方法や科目などは年度ごとに変更されるので、最新の情報に基づいて受験計画を立ててください。
- ③ 併願校を選択するときは担任や進路指導部の先生のアドバイスを参考に、無理や無駄のないようにしましょう。

5 推薦入学について

(1) 推薦入試についての基本的な考え方

推薦入試は、一般入試に先立って推薦された受験者の中から入学者を選抜する制度です。推薦入試制度を設けている学校は様々ですが、多くの学校が学校長を推薦者として実施しています。

学力試験のみならず、多様な観点からその学校にふさわしい学生を採用することを目的としており、一般入学で入学する学生と同等以上の学力・態度を期待して行うものです。

これらの観点をふまえて、本校でも充実した学校生活を送っている生徒の中から本別高校を代表するにふさわしい生徒を推薦しています。具体的には、学年や進路指導部の会議を経て推薦委員会で推薦入学の候補者を選定し、学校長が決裁することとなっています。従って、推薦入試の受験を希望しても推薦されない場合があることにも留意しておいてください。

(2) 推薦の最低基準（本校規定より）

【推薦出願の原則】

第8条 本校において充実した生活を送り、推薦に値する態度・行動である者の推薦出願を認める。

【推薦基準】

第9条 推薦条件は以下のとおりとする。

- (1) 学習成績Cランク（評定平均2.7）以上である。
- (2) 各大学・短大・看護学校及び専門学校・各種学校の推薦基準にあっている。
- (3) 各評定に「1」がない。
- (4) 出願時において停学中にない。
- (5) 校内外の生活の態度や行動面で問題がない。
- (6) 高校3年間の学校の基本的生活習慣（欠席・遅刻・早退など）が推薦に値するものである。
(欠席日数においては各種学校の推薦基準にあっていることを原則とする。)

【推薦基準の特例1】

第10条 体育的・文化的活動及びボランティア活動及びその他の活動において特に顕著な活躍があり、進学希望先の学校から特に要請があった場合は前条の各項の一部を欠く場合であっても出願審議の対象とする。

【推薦基準の特例2】

第11条 第9条の(6)の欠席日数に関し、次の条件のうち一つを満たす場合は出願審議の対象とすることができる。

- (1) 欠席の理由が長期入院及び通院等の場合。
- (2) 欠席の理由に相当の事由があると認められる場合。

【推薦委員会の予備審議】

第12条 第9条の「推薦基準」の要件を欠く場合においても、出願学校及び生徒の特殊事情により出願審議の対象として相当と考えられる場合は、委員会の同意を得て出願審議の対象とすることができる。

【推薦出願上の制限】

第13条 推薦入試の併願は認めない。

推薦入試の結果不合格となり、その結果が判明して以降出願できる学校・学部・学科がある場合、改めて審議のうえ推薦を受けることができる。

(3) 評定平均値について

【評定平均値の計算方法】

$$\text{すべて（3年間）の科目の評定値の合計} \div \text{すべての評定の個数} = \text{評定平均値（少数第2位を四捨五入）}$$

評定平均値	学習成績の概評
5.0～4.3	A
4.2～3.5	B
3.4～2.7	C
2.6～1.9	D
1.8～1.0	E

6 受験の準備～継続は力なり～

受験勉強は、ただがむしゃらに取り組んでも良い効果は得られません。ポイントを押さえて学習することが「合格」を勝ち取るための秘訣と言えるでしょう。そのポイントを挙げておきますので、計画を立てる参考にしてください。

(1) 計画を立てる

「計画を立ててもどうせ実行できない」と言って計画を立てない人がいます。途中で計画通りに進まなくなることがあったら軌道修正して出直せばよいのですから、行き当たりばったりで毎日を過ごさないよう、計画に基づいて学習を進めていくべきでしょう。

(2) 毎日の授業を大切にす

受験勉強を始めると「いかに時間が足りないか」を実感することと思います。だからといって授業を疎かにしてはいけません。受験科目であってもなくても毎日の授業が基本であり、時間をかけて一つのことを追求できるのは授業中だけでしょう。また、範囲が限られた定期考査で高得点を取れずに、どうして入試での得点が期待できるでしょうか。「授業内容の理解」を基礎とした「真の実力」をつけましょう。

「真の実力は総合的な能力に左右される」ということも覚えておくべきでしょう。たとえば英語の解釈や作文は国語（日本語）の能力に左右されますし、現代文や英語での長文読解ではテーマ（たとえば歴史や科学など）についてそれらの知識が必要でしょう。つまり受験科目以外の授業にもしっかりと取り組むことが受験科目の実力を伸ばすことにつながるのです。

(3) 長期休業中の講習に参加する

進学希望者を対象とする講習に積極的に参加し、自分の受験勉強の中に位置づけることが大切です。講習に参加することはもちろんですが、新しい事項や忘れていた事項を確実に身に付けるために予習・復習を欠かさずに行いましょう。講習にはテストがありません。自主的に意識して取り組むことが大切です。講習は受身の姿勢ではなく、日々の学習に「講習を利用する」という気持ちが必要でしょう。

(4) 模試を受験する

模試は結果(成績)が全てではありません。自分自身の勉強が現時点でどれくらい進んでいるかをチェックし、その後の学習計画の見直しに役立つ重要な資料となります。特に、2年生後半から3年生の夏休み前にかけての基礎固めの段階では、模試は学習チェックとして役立ちます。点数や志望校判定だけにとらわれず、積極的に模試に取り組んで実力を磨いてください。

また、試験は決められた時間内で自分の答案を作成し、どれだけ自分の力を発揮できるかが問われるものです。集中力を養い、時間配分を体感的に覚えるためにも模試の受験は有効です。

模試を受けるにあたって最も心に留めておいてほしいことは「一度犯した間違いは二度と繰り返さない」ということです。落ち着いて誰もができる問題は確実に解き、それから難問に取り組むほうが良いでしょう。その際にはケアレスミスに注意しましょう。ケアレスミスを防ぐには今まで受けた模試を分析し、同じ過ちを繰り返さないことが大切です。

- ① 模試の活用法は、「復習」の一語に尽きます。悪い点数が戻ってくると見たくないと思いがちですが、減点の対象となった部分を確認して自分のものにするのが重要です。特に記述問題の場合は、答案の作り方もコツをつかむ必要があります。
- ② 模試でできなかった問題はノートに書き出し、何度も解き直してみましょ。そうすることで、そのノートは自分の参考書となります。受身の姿勢で模試を受けても何も生まれません。積極的に模試を受けて学力向上に役立ててください。

(5) 参考書・問題集を揃える

受験には受験用の参考書・問題集があります。数多く持つ必要はありませんが、教科担任の先生など相談して自分に合ったものを揃えましょう。

(6) 自習時間を大いに活用しよう

- ① 課題のある自習時間
 - (ア) 自習時間の課題には、次の時間の準備やこれまでの授業の復習、高校生としての常識といったねらいが設定されているので、授業同様にしっかり取り組まなければなりません。
 - (イ) 課題には1時間いっぱいかかるものはほとんどないと思います。課題が終わったら、各自の勉強に時間を活用してください。
- ② 課題のない自習時間
 - (ア) 自習であることが事前に分かることもありますが、その日になって知ることも少なくありません。そんなときに取り組める課題を常に用意しておくとう良いでしょう。
 - (イ) 家庭学習にも限りがあります。各自の進路実現のため、ちょっとした空き時間も有効に使うことが大切です。

言葉で言うのは簡単ですが、実行し継続していくことは簡単ではありません。

まずは始めてみる。そして続けること。

その中で自分のやり方を見つけていきましょう。

7 進路活動について本校規定の抜粋

【進路活動の停止】

第11条 以下に定める事項に該当するものは進路活動の一部あるいは全部を停止する。その内容については進路指導部会において検討する。

- (1) 停学中にあるもの。及び、進路活動を行うにふさわしくない態度・生活状況のもの。
- (2) 評価・評定（仮評定）に1科目でも評定1のあるもの。
- (3) 評定（仮評定）の段階で、欠席日数が出席すべき日数の2割を越えているもの。ただし、病気・入院等特段の事情があるものについては別途考慮する。

【進路活動の停止の解除】

第12条 前条の進路活動の停止は該当事項が解消されたことを教務部との連携のもと、進路指導部で確認し、解除する。

【進学者の併願】

第20条 民間の事業所へ就職（以下「民間就職」と略する。）と進学の場合、民間就職が内定したときはこれを優先する。

- 2 推薦による進学と民間就職の併願は認めない。

【応募者の調整の基準】

第27条 応募者の調整に当たっては次の点を考慮して選考する。

- (1) 1～3年までの学習成績
- (2) 1～3年までの生徒会活動・HR活動・部活動・ボランティア活動及びその他学習活動の状況
- (3) 日常の生活状況（欠席・遅刻・早退・授業態度など）

Ⅲ 大学入学共通テスト・大学別入学試験

(1) センター試験から共通テストへ

2021年度から、センター試験に代わって大学入学共通テスト(※)が導入されました。入試は英語では4技能(聞く・話す・読む・書く)のバランス重視の観点から、リーディングとリスニングの配点割合が100点:100点(200点満点)となりました。リスニングは読み上げ語数がセンター試験から増加したことに加え、グラフや図を用いて回答する問題が大幅に増加したことでリスニング自体の難易度はセンター試験より上がりました。

※ これまで一般的に使われていた「入試」という呼び名も「選抜」という言い方になります。

「AO入試」→「総合型選抜」 「推薦入試」→「推薦型選抜」 「一般入試」→「一般選抜」

(2) 大学別選抜試験

それぞれの大学や学部別に行われる個別選抜で2次試験とも呼ばれます。多くの場合、選抜方法は記述式・論述式の問題で受験者の学力を計ります。受験科目は文系学部では国語・英語・地歴公民、理系学部では数学・英語・理科を中心に1～4科目出題されます。その他、後期日程試験によく見られるものとして小論文や面接・実技試験そして複数教科にまたがった総合問題という形式もあります。共通テストの導入を受け、国公立私立を問わず各大学で「多面的評価」を取り入れる動きが見られます。教科の知識以外の面も評価しようとするもので、大学によって求められる力も試験の内容も変わる可能性があります。一般選抜も面接や書類審査を課す大学が増える見込みです。

2次試験の科目数は少ないですが、試験内容はハイレベルなものが多く、短期間で準備をするのは困難です。2年生が終わるまでには共通テスト突破レベルの学力を身につけ、教科書はもちろん市販の参考書や問題集に早期から取り組んで高いレベルの学力を身につけることが求められます。

(3) 調査書の変更

「主体的に学び」「自らを評価して」「新たな課題を見つけ」「改善していく」資質・能力を評価するため、各大学に提出する調査書もより具体的な記述が必要なものに変更されました。

高校時代、学習や課外活動(部活動や生徒会活動、ボランティアなど)、資格や検定試験などにどのように取り組んだかを記録しておくためにポートフォリオの導入を導入する大学も増えてきました。

受身でなく自ら積極的に物事に取り組み、記録を残しておきましょう。

(4) その他

1. 募集要項の入手方法

入学案内や募集要項は早めに取り寄せ、志望校を選び受験スケジュールを立て、余裕を持って願書の準備をしましょう。なお、共通テストの願書は当校進路指導部で用意しますが、学校別の募集要項などは各自で直接志望校に申込み、入手してください。

2. 提出書類

志望校への提出書類は一般的にはつぎのものです。

- ② 入学願書…志望校の書式に従い、必要事項をもれなく記載し、提出してください。
 - ② 調査書…書類審査では最も重要な資料の一つとなります。担任の先生が準備しますので、早めに申し出てください。
 - ③ 推薦書…推薦型選抜の場合、高等学校長発行の推薦書を提出しなければなりません。(自己推薦は除く)
 - ④ 健康診断書…学部・学科によっては提出を求められる場合があります。
- ※いずれも数日で用意できるものではありません。余裕を持って早めに準備してください。

3. 出願手続き上の諸注意

- ① 志望校へ提出する全ての書類はボールペンなどを使い、楷書で記入してください。修正液などの使用は許可されませんので、あらかじめ鉛筆でうすく下書きをし、慎重に記入してください。マークシートなどの特別な用紙の時はより注意深く記入してください。
- ② 「調査書」「推薦書」の発行は担任の先生を通じて請求します。指定の様式に従い請求用紙にその旨を記入し、出願締切日から逆算し、余裕を持って請求してください。
- ③ 願書などに使用する写真については、サイズ・枚数などの項目を校内で行われる願書用写真撮影日までに募集要項で必ず確かめておいてください。また受験時に眼鏡をかける場合は必ず撮影時に眼鏡をかけてください。
- ④ 受験料の支払い方法(「為替」「小為替」「振込」「現金書留」など)も大学により異なりますので募集要項で必ず確認してください。
- ⑤ 郵送で出願する場合、願書受付締め切り日 必着か消印有効かを確認しておいてください。
- ⑥ 併願をする場合は難易度・試験日程・受験科目などを考慮し、無理のない計画を立ててください。
- ⑦ 宿泊や旅券の手配は早めに済ませておいてください。選抜時期は受験校近郊の宿泊所は満室になることが予想されます。

(参考資料)

令和8年度(2026年度)大学入試センター試験及び国公立大学入学者選抜実施日程

月	大学入学共通テスト	国公立大 総合型・推薦型・一般選抜
4月		
5月		
6月		選抜要項発表 ☆総合型選抜・出願エントリー開始(学校による)
7月	マイページ作成(7/1~)	
8月		☆総合型選抜・出願受付開始(学校による)
9月	共通テスト出願(9/15~10/2)	
10月		☆推薦型選抜・出願受付開始
11月		☆推薦型選抜試験・実施(12月中旬頃まで) 大学ごとに「募集要項」(願書)配布開始
12月	受験票の送付(上旬ごろ)	
1月	共通テスト実施 1月16日(土)・17日(日) 追試験(1/23, 24) ※試験後に発表される正解をもとに自己採点し、2次試験の出願先を決定する。	☆推薦型選抜・合格発表(1月下旬頃まで) 2次出願受付開始(1/27~2/5)
2月	平均点などの最終発表 2月初め(予定)	2次前期日程試験(2月25日~)
3月		前期日程合格者発表(3月1日~10日)*国立大は6~ 公立大中期日程試験(3月8日~) 2次後期日程試験(3月12日~) 前期日程入学手続き締切 中・後期日程合格者発表

令和8年度(2026年度)大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法

教科	グループ	出題科目	出題方法 (出題範囲, 出題科目選択の方法等) 出題範囲について特記がない場合, 出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間(配点)
国語		『国語』	・「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし, 近代以降の文章及び古典(古文, 漢文)を出題する。	90分(200点) (注1)
地理歴史		『地理総合, 地理探究』 『歴史総合, 日本史探究』 『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』 『公共, 政治・経済』 →(b) 『地理総合/歴史総合/公共』 →(a)	・左記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 ・(a)の『地理総合/歴史総合/公共』は, 「地理総合」, 「歴史総合」及び「公共」の3つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 ・2科目を選択する場合, 以下の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから2科目を選択する場合</u> 『公共, 倫理』と『公共, 政治・経済』の組合せを選択することはできない。 <u>(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合</u> (b)については, (a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない。(注2) ・受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(注3) (うち解答時間120分) (200点)
公民		(a): 必履修科目を組み合わせた出題科目 (b): 必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目		
数学	①	『数学Ⅰ, 数学A』 『数学Ⅰ』	・左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ・「数学A」については, 図形の性質, 場合の数と確率の2項目に対応した出題とし, 全てを解答する。	70分(100点)
	②	『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	・「数学B」及び「数学C」については, 数列(数学B), 統計的な推測(数学B), ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目に対応した出題とし, 4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答する。	70分(100点)
理科		『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	・左記出題科目の5科目のうちから最大2科目を選択し, 解答する。 ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4つを出題範囲とし, そのうち2つを選択解答する(配点は各50点)。 ・受験する科目数は出願時に申し出ること。	1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(注3) (うち解答時間120分) (200点)
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』	・左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し, 解答する。 ・『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」, 「英語コミュニケーションⅡ」及び「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし, 【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は, 原則としてその両方を受験する。その他の科目については, 『英語』に準じる出題範囲とし, 【筆記】を出題する。 ・科目選択に当たり, 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は, 出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 60分(注4) (うち解答時間30分) (100点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80分(200点)
情報		『情報Ⅰ』		60分(100点)

(備考) 『』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し, 「」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

また, 『地理総合/歴史総合/公共』や『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』にある“/”は, 一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表す。

(注1) 『国語』の分野別の大問数及び配点は、近代以降の文章が3問110点、古典が2問90点(古文・漢文各45点)とする。

(注2) 地理歴史及び公民で2科目を選択する受験者が、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合において、選択可能な組合せは以下のとおり。

- ・(b)のうちから『地理総合、地理探究』を選択する場合、(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
- ・(b)のうちから『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
- ・(b)のうちから『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

[参考]地理歴史及び公民において、(b)のうちから1科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて
○：選択可能 ×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
(b)	『地理総合、地理探究』	×	×	○
	『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
	『公共、倫理』	○	×	×
	『公共、政治・経済』	○	×	×

(注3) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

(注4) 【リスニング】は、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。
なお、『英語』以外の外国語を受験した場合、【リスニング】を受験することはできない。

IV 令和8年3月合格状況

(1) 大学

	大 学 名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
国 公 立 大 学	旭川医科大学			1		
	北見工業大学	1				
	北海道教育大学札幌校		1			
	室蘭工業大学		2			1
	小計	1	3	1		1
私 立 大 学	酪農学園大学					1
	札幌学院大学			2		2
	日本医療大学			3		
	岡山理科大学					1
	北海学園大学	2	1	1	1	1
	北星学園大学	1				
	北翔大学	1				
	北海道医療大学					2
	藤女子大学			1	1	
	日本赤十字北海道看護大学				1	
	北海道文教大学	2	1	1		1
	北海道科学大学					1
	札幌保健医療大学		1			1
	札幌大谷大学			1	1	
	札幌国際大学			1		
	日本医療大学			3		
	オーストラリアアデレード大学					1
	大谷大学	1				
東洋大学	1					
神奈川大学			1			
	小計	8	3	11	4	11
	計	9	6	12	4	12

(2) 短期大学・準大学

短 大 名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
旭川市立大学短期大学部		1			
帯広大谷短期大学				2	1
武蔵女子短期大学	1	1			
北星学園大学短期大学部					1
北翔大学短期大学部	2				
計	3	2		2	2

(3) 看護学校

学 校 名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
過去5年間 入学生はいません。					
計	0	0	0	0	0



(4) 専修・各種学校

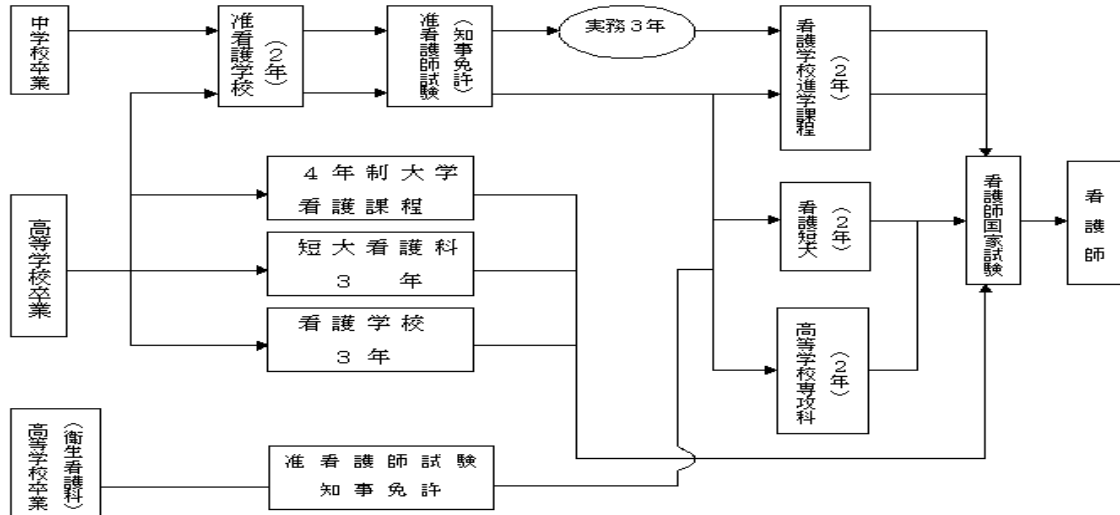
	学 校 名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
医療・福祉・教育	札幌医療秘書福祉専門学校				2	1
	札幌看護医療専門学校			1		
	北海道ハイテクノロジー専門学校	1			1	2
	北海道スポーツ専門学校			1		
	北海道福祉保育大学校		1		1	
	せいとく介護こども福祉専門学校					1
	JA北海道厚生連旭川厚生看護専門学校			1		
	札幌こども専門学校				1	
	千葉こども専門学校			1		
	小樽歯科衛生士専門学校			1		
日本医歯薬専門学校			1			
エンターテインメント	札幌デザイナー学院		1			
	札幌放送芸術デザイン専門学校				1	
	札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校					1
	札幌ミュージック&エンターテインメント専門学校	1				
	札幌マンガ・アニメ&声優専門学校		1			
	代々木アニメーション学院				1	
	経専音楽放送芸術専門学校					1
ビジネス	大原法律公務員専門学校	1	1		1	
	吉田学園公務員法科専門学校	2				
	吉田学園情報ビジネス専門学校				1	
	日本航空大学校				1	1
工業・技術	北海道立帯広高等技術専門学院		1			1
	北海道自動車整備大学校	1				
	北日本自動車大学校		1		1	
調理・衛生・美容	帯広調理師専門学校	2				1
	光塩学園調理製菓専門学校	2				
	北海道中央調理技術専門学校	1				
	経専調理製菓専門学校		1		1	
	北海道美容専門学校	1		1	1	
	旭川理美容専門学校	1				
	東京総合美容専門学校			1		
動物	北海道動物・医療専門学校 (北海道エコ・動物自然専門学校)					1
	北海道どうぶつ・医療専門学校	1			1	
	札幌どうぶつ医療専門学校			1		
計		14	7	8	14	10

V 看護師になるには

3年課程 ◎高等学校卒業者（大学入試共通テストの成績は不要）

2年課程 ◎准看護師の免許を得てから3年以上実務経験のある者。

（夜間3年）◎准看護師で高等学校卒業者、又は卒業見込者。



現在、高等看護学校いわゆる高看は推薦入試も一般入試も倍率が高くなってきています。一般入試の試験内容は本校の生徒にとっては厳しいものになっています。また各学校から出された資料によれば、入試に合格するには最低6割の得点が必要です。家庭での学習時間を充分にとり、積極的に取り組むのは当然のこととして、問題集を通じて試験に慣れるなど、自主的かつ計画的な学習を行うことが大切です。特に、国語・数学・英語の3教科はできるだけ早い時期から取り掛かなければなりませんし、理科（特に生物・化学）についてはすべての分野を理解できるよう学習する必要があります。学校の授業だけで満足してはいけません。

また、看護高等専修学校いわゆる准看と言われる学校があります。准看は元来中卒者を対象とした学校でしたが、現在ではほとんどが高卒者で占められています。従って高校で学ぶ内容を確実に自分のものにしておく必要があります。学校の授業を中心に据え、受験用の問題集を地道にやっていくことが要求されます。

また、病院によっては3年間の欠席日数は10日以内が望ましいというところも多く、看護の業務内容を考えると当然ですが、日常の健康管理にも充分気を使わなければなりません。

また面接で試験官にアピールするだけの人間的な深さ、温かさといったものを養っておかなければなりません。今日の医療の現状や看護師という職業に対する知識や一般常識も必要です。

以上、看護学校への道は非常に険しいものですが、それを乗り越え目標を達成する生徒が1人でも多くなることを期待します。入学後は、「受験勉強とは比較にならない」と看護学生が言う通り厳しいスケジュールが待っているのです。高校在学中に全ての面において努力をしてください。

VI 奨学金等について

(1) 日本学生支援機構

大学・短大・専修学校専門課程に進学した場合に奨学生として採用してもらう「予約奨学生制度」があります。これには「貸与型」と「給付型」があります。

「貸与型」は、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金の2種類があります。奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、必ず返還しなくてはなりません。

「給付型」は、返還不要ですが、申し込みは各学校を通して行い、人物・健康・学力・家計などを基準にして採否を決定します。

3年生の春ごろ募集になります。学校で資料配布をおこないます。詳細は日本学生支援機構にお問い合わせください。

日本学生支援機構 QR コード



(2) 日本生活金融公庫（国の教育ローン）

対象者	対象となる学校に入学・在籍する者の保護者
対象学校	高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院 専修学校・各種学校・予備校・特別支援学校の高等部
融資額	学生1人につき、350万円以内
年利	固定金利年3.75%（令和8年5月現在） 母子・父子家庭、世帯年収が一定額以内の方は年1.95%
返済期間	20年
資金の用途	入学時・・・学校納付金（入学金・授業料など）、受験費用 在学時・・・学校納付金、住居費・定期代・学生の年金保険料
申し込み	志望校決定での申し込み可能（合否がわかる前に申し込み可能）

(3) 北海道看護職員養成修学資金貸付金

免許取得後、貸付期間の1.5倍の年数、道内の400床未満の病院、診療所等での看護業務等に従事した場合は貸付金の返済が免除されます。月額36,000円

(4) 各学校独自の奨学金制度

私立の学校を中心に、独自で奨学金制度を設けている学校が多いです。

返済の義務の有無（貸与か給付か）、返済期間などは各学校で異なり、学業成績だけでなく、スポーツや文化などの課外活動や資格取得の実績などを選考基準にする学校もあります。